

なかつがわ日本語ひろば 開催レポート

Vol.8 文楽を見よう



概要

令和8年度 前期 第6回教室

日時: 令和8年7月25日(土) 13:30~15:00

場所: 中津川市ひと・まちテラス 活動室 101

参加人数: 学習者 9 人、日本語サポーター13 人



テーマ/講師

文楽を見よう (講師: 恵那文楽保存会の皆さん)



開催状況

参加者に郷土の伝統芸能に触れてもらおうと、恵那文楽保存会の皆さんをお招きし、文楽の鑑賞と人形遣い体験を行いました。

○まず、文楽の歴史や人形を操る仕組みについて簡単に学びました。文楽の専門用語もありましたが、参加者はそれぞれ理解した内容を母語でメモしました。

○その後、「^{ことばききさんばそう}寿 式三番叟」と「^{しょううつしあさがおにつき}生 写朝顔日記」の一部を鑑賞しました。初めて文楽を鑑賞する参加者がほとんどでしたが、人形の躍動感あふれる動きや、感情を表現した繊細なしぐさに引き込まれていました。

○続いて、会員の皆さんの指導のもと、実際に文楽の人形を操る体験をしました。参加者は、^{かしら}首と右手を操る「主づかい」、左手を操る「^{おも}左づかい」、足を操る「足づかい」の3つの役割を教わりながら、息を合わせて1体の人形を動かしました。人形の重さや動かす難しさを感じながらも、楽しそうに人形を操っていました。

○今回の体験は、参加者が郷土の伝統文化に直接触れ、地域文化への理解を育む貴重な機会となりました。

